

## 工学部

### 学部の教育理念と教育目的

愛媛大学は、学術の継承と知の創造によって人類の未来に貢献することを使命とし、『多様な個性と資質を有する学生に、人文科学、社会科学、自然科学を広く視野に入れた教育と論理的思考能力、自己表現能力を高める教育を実施し、自ら考え実践する能力と次代を担う誇りをもつ人材を育てる』ことを教育目的にしています。

この趣旨に沿い、工学部は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として社会に貢献できる人材の育成を目指し、次のような教育理念・目標を設定しています。

1. 自立的技術者・研究者としての素養の涵養： 社会や自然との係わりの中に自らを位置づけ、グローバルな視野からの多面的な判断によって工学・科学技術を主体的、自律的に行使することができる人材を育成します。
2. 創造的基礎能力の育成： 科学とこれを基礎とする専門分野の基礎的知識を総合的に活用して、ものづくりやシステムづくりに創造的能力を発揮し、このことを通じて社会に貢献することができる人材を育成します。
3. 人間的基礎力の育成： 世界的なグローバル化の流れに柔軟に対応して、自らの人生を切り拓いて行くための素養として、継続的な自己学習力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力等を養成します。

### ●学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

(知識・理解)

機械工学、電気電子工学、環境建設工学、機能材料工学、応用化学及び情報工学の一分野についての専門的知識をもち、ものづくりやシステムづくりに活用できる。

(思考・判断)

科学や技術が社会に及ぼす影響を理解しつつ、ユニバーサルな高い視点から、自立的かつ論理的な判断を行うことができる。

(関心・意欲)

問題を解決するために必要となる専門的知識を自ら修得するための継続的に学習する能力をもつ。

(態度)

専門知識を総合的に活用しながら、問題を世界的な視野から位置づけることができる。

(技能・表現)

自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力をもつ。

### ●学部のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

工学部は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指しています。そのため、本学部では次のような人を求めています。

〈知識・理解〉

1. 工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

〈思考・判断・技能・表現〉

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。

〈関心・意欲・態度〉

3. 工学の分野に興味を持ち、主体的・継続的な学びの姿勢で未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。